

のびのび通信 第12号

2012年4月

春は、恒例の「いちご狩り」で活動開始！

発達障害児支援サークル「のびのび」が、毎年、田中農園さんを利用させていただくには、理由があります。



- いちごが甘くて、おいしいから！
- ハウスの中が、とってもキレイだから！
- おばちゃんもおじちゃんも、とても優しいから！

このような理由が続くのは、もちろん当然のことなのですが、ここでは、「いちごの摘み方」や「ハウスでのルール」を視覚的に分かりやすく説明してくれることが最大の魅力なんです。

発達障害の中でも、自閉症スペクトラムの場合は、話し言葉では、情報が伝わりにくいことを実感されている方も多いかと思います。その点について、どう対処すべきか「のびのび」のスタッフが専門的なセミナーで学び、スケジュールや手順書を文字や写真・イラストなどひとりひとりに分かりやすい形（視覚的）で情報提供する方法を取り入れています。今では、子ども達も、視覚的構造化された情報であれば、他の人と同じように理解し、行動できると自信を持っています。

ここ田中農園さんでは、いちご狩りを楽しむうえでの情報を視覚的に伝えてくださることで、「のびのび」の子ども達は、どの団体の子もさんよりもルールを正しく理解して守ってくれると評判なんです。普段なら、ハチに恐怖心を抱く子も、「お仕事中」と聞けば、お仕事の邪魔をしないようにとそっとその場から立ち去ります。「ダメ、ダメ」教えるのではなく、「なぜ、ダメなのか」正しい情報を、その子に分かりやすい方法で伝えることが大切ですね。

この後、大人は総会でしたが、その間、水路で遊ぶ子も。自然の中で、昔ながらの子どもの姿に、ホッとした一日でした。



平成24年度の発達障害児支援サークル「のびのび」の活動は、日本教育公務員弘済会と赤い羽根共同募金の皆様からの助成金で運営いたします。皆様のご支援のおかげで、この活動も8年目に突入しています。今後とも、地域の皆様とともに、子ども達が笑顔で暮らせるまちになるよう頑張りますので、引き続き、ご理解、ご支援をよろしくお願いいたします。

発行：発達障害児支援サークル「のびのび」